

1. 園の教育目標 「たくましく 自立できる子どもに育てよう」

- 心身ともにいきいきした子
- 意欲的に遊べる子
- 心ゆたかな子
- 個性を認めあい、たすけあえる子

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画
努力目標…「健康な心と体をめざして」

～安心して自分の思いを表現できる環境や援助を考える～

3. 評価項目の達成および取組状況

評価項目	結果	理由
(1)努力目標について	B	様々な体を動かす遊びを保育に取り入れ、楽しみながらできる活動について実践交流を行った。また、研究保育を行い、教師の意識や実践力の向上に努めた。
(2)ねらいや指導内容を明確にし、保育に取り組む	A	新型コロナウイルス感染症対策のため、様々な制限があったが、子供の姿を捉えることを大切にし、一つ一つの保育内容のねらいを明確化し、共通認識して取り組んだ。
(3)個々の幼児の評価や課題について全職員で話し合い、保育をする。	B	一人ひとりの子どもの姿や育ちについて課題や支援内容を全職員で共通認識し、支援を行うよう努めた。また、関係機関と密な連携を図り、保護者に寄り添いながらよりよい支援方法を考え、取り組んだ。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	新型コロナウイルス感染症対策に努め、心身ともに安心・安全を第一に園生活ができるように努めた。職員間で話し合いを重ね、今までとは異なった保育内容や進め方を柔軟に考え、工夫し、保護者の理解を図りながら保育に取り組むことができた。また、一人ひとりの子供の思いに寄り添い、互いの思いを知り、かかわり方を学ぶよう援助を行うと共に、自分の気持ちを言葉にして相手に伝える力を育んだ。

- ◎「3. 4.」の評価結果の表示方法 A 十分達成されている B 達成されている
C 取り組まれているが、成果は十分でない D 取り組みが不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的取り組み方法
1. 異年齢のかかわりを通しての保育	新しい生活様式の中で、3年保育を見通して異年齢のかかわりを考え、意図的なかかわりや自然なかかわりについて考察する。
2. 特別支援教育の充実を図る	一人ひとりの子どもの姿や育ちについて丁寧に捉え、課題や支援方法を明確にすると共に、よりよい支援方法を考える。
3. 安全対策について	新型コロナウイルス感染症対策を行い、安心安全に過ごせるよう環境構成を考え、取り組む。安全点検を重視し、徹底を図る。

※記入に際しての留意点

- 「3. 評価項目の達成および取組状況」の理由については、指標や基準等の内容に基づいた成果や取組の状況、評価結果の根拠を記入する。

- 「4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果」については「3. 評価項目の達成および取組状況」を総合的に評価して記入する。

- 「5. 今後取り組むべき課題」については、評価項目を課題とするだけでなく、指標や基準等、できるだけ具体的な視点から課題を記入することが望ましい。

- このシートを作成するに当たり、教職員の『個人評価シート』や、個々の指標や基準等を評価する『補助シート』を作成することも考えられる。